



Ⅱ. 「地域の活性化」への貢献

- JAグループさいたまは、「くらしの活動」として、組合員や地域住民の様々なくらしのニーズに対応し、住みなれた地域での助け合いを軸とした地域セーフネット機能をJA総合事業の中で展開するとともに、JAが「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」であることを発信し、「食と農、地域とJAを結ぶ」取組みをすすめます。

また、行政・集落、商工会等の地域の様々な人々と連携し、防災対策や災害復旧支援をふくめ、協同組合の理念のもと地域の活性化に貢献します。

1. 地域実態・ニーズを踏まえたJA事業とJAくらしの活動の展開(最重点分野 ⑧)
2. 地域の活性化に向けたJAの機能発揮

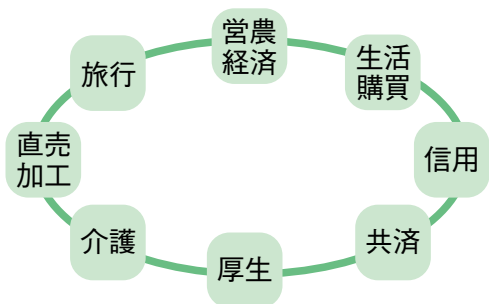
地域社会を取り巻く課題

- 人口減少、超高齢社会、地域の活力低下
- 医療・福祉等をはじめとしたくらしに関する不安
- 持続可能な生活インフラへのニーズ

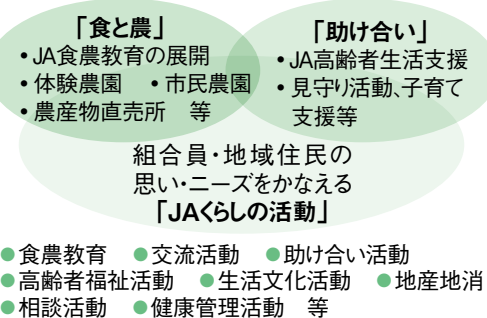
JAが地域社会に果たす機能・役割

- 多数の拠点と総合事業・活動を最大限活用したサポートを提供
- 組合員・地域住民の協同活動・相互扶助をサポート

JA事業



JAくらしの活動



連携

生活インフラ機能の発揮

地域コミュニティの活性化

- 行政や組合員組織(女性組織・助け合い組織等)とも連携
- JA事業とJAくらしの活動を通じた協同活動を実践し、徹底して地域を支援

地域の活性化(地方創生・まちづくり)

豊かでくらしやすい地域社会の実現に貢献

農業者

- ▶生活基盤の安定・充実
- ▶安心して農業に従事

協同

地域住民

- ▶総合事業を利用
- ▶地域農業を応援